



第
42
号

発行日：2018年9月1日
 発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
 (大津市地球温暖化防止活動推進センター)
 住所：〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津4階
 電話：077(526)7545 / FAX：077(526)7581
 フォーラムHP：http://eco-otsu.net
 Eメール(事務所)：forum@eco-otsu.net

＜事務局長から＞ この夏は豪雨や猛暑日が続き、地球温暖化を身近に感じた夏でした。いかに過ごされたでしょうか。日常の生活を少し見直すことで、自然に優しく環境に配慮した活動に努めましょう。初秋の候となり、フォーラムの活動も後半期を迎えます。味覚の秋も近づき夏ばての体力の回復を。そして、各事業への参画よろしく願いいたします。

会員数 159名 (2018年8月末現在)

トピックス

○生物多様性保全事業「里山の自然観察会」を開催しました

7月15日、県営春日山公園地先の棚田で大津市生物多様性保全事業「里山の自然観察会 ～鮎稚魚の引っ越しと田んぼの生きもの探し～」を開催し、6家族20人が参加されました。

日よけタープテントの下であいさつと説明の後、家族ごとに棚田へ移動しました。棚田では、水の落とし口の水網を構え、そこに追い込まれ流れてきた生きものを回収しました。生きものをテントに持ち帰って分類・観察します。以前放流しておいたニゴロブナの稚魚のほかに、ドジョウ、メダカ、カエル、オタマジャクシ、クサガメ、ザリガニ、シマゲンゴロウ、マツモムシ、タイコウチ、ヤゴなど多様な生きものがいました。観察の後、稚魚は池に、他の生きものは田んぼに再放流するなどして里山(棚田)が生きものにとって大切な環境であることを理解しました。日差しが強く猛暑となったため、一部の予定を切り上げての開催でしたが、環境への意識が高まる体験でした。



○生物多様性保全事業「夏休み川の学校 ～大宮川探検～」を開催しました

7月21日、坂本公民館で大津市生物多様性保全事業「夏休み川の学校 ～大宮川探検～」を開催し、応募の20家族から抽選で選ばれた12家族37人が参加されました。

連日のように猛暑が続く、炎天下に大宮川へ出かけると熱中症の懸念があるため、子どもたちによる生きもの探しは中止し、代わりにスタッフが日吉大社境内大宮橋付近の大宮川で水と水生生物を採取してきました。持ち帰った試料を4班に分かれて調査しました。水質は、濁り・においとパックステストによってpH・CODを調べました。生きものは、顕微鏡やルーペを使い、ハンドブックを参照して大まかな種類分けをしました。水質調査結果、生きもの調査結果ともに大宮橋付近の大宮川は「きれいな水」であることを示していました。猛暑のため「川探検」ができず残念でしたが、市内にはきれいな川、豊かな自然が残っていることを理解いただけたことでしょうか。でも、やっぱり生きものは自分で採取したいですね。



○地球温暖化防止事業「こどもエコ料理」を開催しました

7月22日、平野公民館で大津市地球温暖化防止事業「こどもエコ料理」を開催し、10人の小学生が参加されました。

あいさつと説明のあと3班に分かれてエコ料理、茶殻入り豆腐ハンバーグ、サケの混ぜごはん、野菜スープとスイカのデザートを作りました。お母さんたちは調理室に入れません。エコのポイントは「スイカやニンジンの皮など食材を無駄にしない」「ゴミになるものは水にぬらさない」「水をむだ使しない」などです。お昼前に料理ができ上がり、きれいに盛り付けて楽しい試食です。試食の後、家庭でできる省エネを「小学生エコライフデー2018」で学習しました。後片付けも「油で汚れた皿を重ねない」「汚れをふき取ってから洗う」などエコを心がけて行いました。最後にアンケートを記入し、終了証と洗剤なしでも汚れがよく落ちるアクリルたわしをいただいて解散しました。



○おおつ市民環境塾 2018 講座⑤「湖の学校」を開催しました

8月4日、びわ湖大津館とその前の琵琶湖岸でおおつ市民環境塾 2018 講座⑤「湖の学校」を、県琵琶湖環境科学研究センターの先生方4人を指導講師に招いて開催しました。

参加者は、申し込み時の希望によってプランクトン班13人と底生生物班11人に分かれました。プランクトン班は、事前に講師が採取した北湖と南湖のプランクトンを顕微鏡で観察し、その種類と量の違いを調べました。底生生物班は、開講一番にびわ湖大津館前の湖岸の砂地とヨシ原砂地で、また前日に同所の泥地で、いずれも講師が採取した試料をトレイに取り分け、主として肉眼でミミズ、貝類、その他の生きものを拾い出し、その種類と見つけた数を記録し、泥地、砂地、ヨシ原の生きものの場所による違いを調べました。結果は、プランクトンも底生生物も住む場所によってはっきりと分かれていました。各班でまとめを行った後、最後に班代表が参加者全員の前で発表し、共有しました。



■プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《ビオトープづくりプロジェクト》

連日のように猛暑となり、熱中症が懸念されるため、8月22日（富士見児童クラブ）と24日（長等児童クラブ）の「どろんこ遊び」は中止しました。

《温暖化防止対策事例集作成チーム》

今年度作成する事例集「機器編」は、機器の容量や消費エネルギー等をしっかり書き、現有機器が使えなくなった際更新の目安になるものを目指します。また、2030年家庭で40%CO₂削減のためにどんなことをやりたいかということをしっかり描きます。

《おおつエコフェスタ実行チーム》

「おおつエコフェスタ 2018」は7月29日に開催予定でしたが、台風12号が近畿地方直撃となったため中止。関係者への連絡等に追われました。

《エコライフデー運営支援チーム》

夏版エコライフデー一斉実施対象の2学区5小学校へのチェックシート配布を終え、真野学区では自治会長さんを対象に実施説明を行いました。

環境情報合同交流会 開催案内

市民・企業・環境団体・大学・行政が集まり、環境について考えます。ぜひ、ご参加ください。

◎日時場所：11月3日(土・祝) 12:30~16:20 ピアザ淡海

●基調講演：「SDGsの視点で環境を考える」

認定NPO 法人環境市民代表 枚本育生氏

●テーマディスカッション：4グループに分れ話し合います

「びわ湖」環境と経済発展「食品など資源の活用」「低炭素社会」

●パネル展示

☎ forum@eco-otsu.net

■これからのフォーラム活動

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
プロジェクト・学習研究グループ		
子どもが遊べる川づくり	9月26日(水) 15:00	大津市センター//会議
菜の花	9月29日(土) 10:00	雄琴菜の花畑//「菜の花を植えよう」(雨天30日)
ビオトープづくり	9月9日(日) 9:00	春日山ビオトープ//生き物調査、補修整備
里山保全	9月5日(水) 10:00	春日山公園//定例会(学外実習生受入)
	9月17日(月) 9:00	春日山公園//定例会
	10月1日(月) 9:00	春日山公園//定例会
エネルギー	9月4日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	10月2日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
いきいき河川	9月1日(土) 9:00	大津港//市民環境塾⑥「湖上教室」
委員会・実行チーム・事業部		
理事、PJリーダー意見交換会	9月13日(木) 16:00	男女共同参画センター
地球温暖化防止事業実行チーム	9月12日(水) 9:00	市民活動センター //うちエコ診断
環境情報合同交流会実行チーム	9月4日(火) 13:30	大津市センター//会議
地球温暖化防止対策事例集作成チーム	9月12日(水) 10:00	大津市センター//会議
里湖づくり事業実行チーム	9月11日(火) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター//湖底耕耘
	9月27日(木) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター//湖底耕耘
	10月12日(金) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター//調査活動
事業部 KES 普及推進グループ	9月20日(木) 13:30	生涯学習センター//審査員グループ定例会議

*大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）